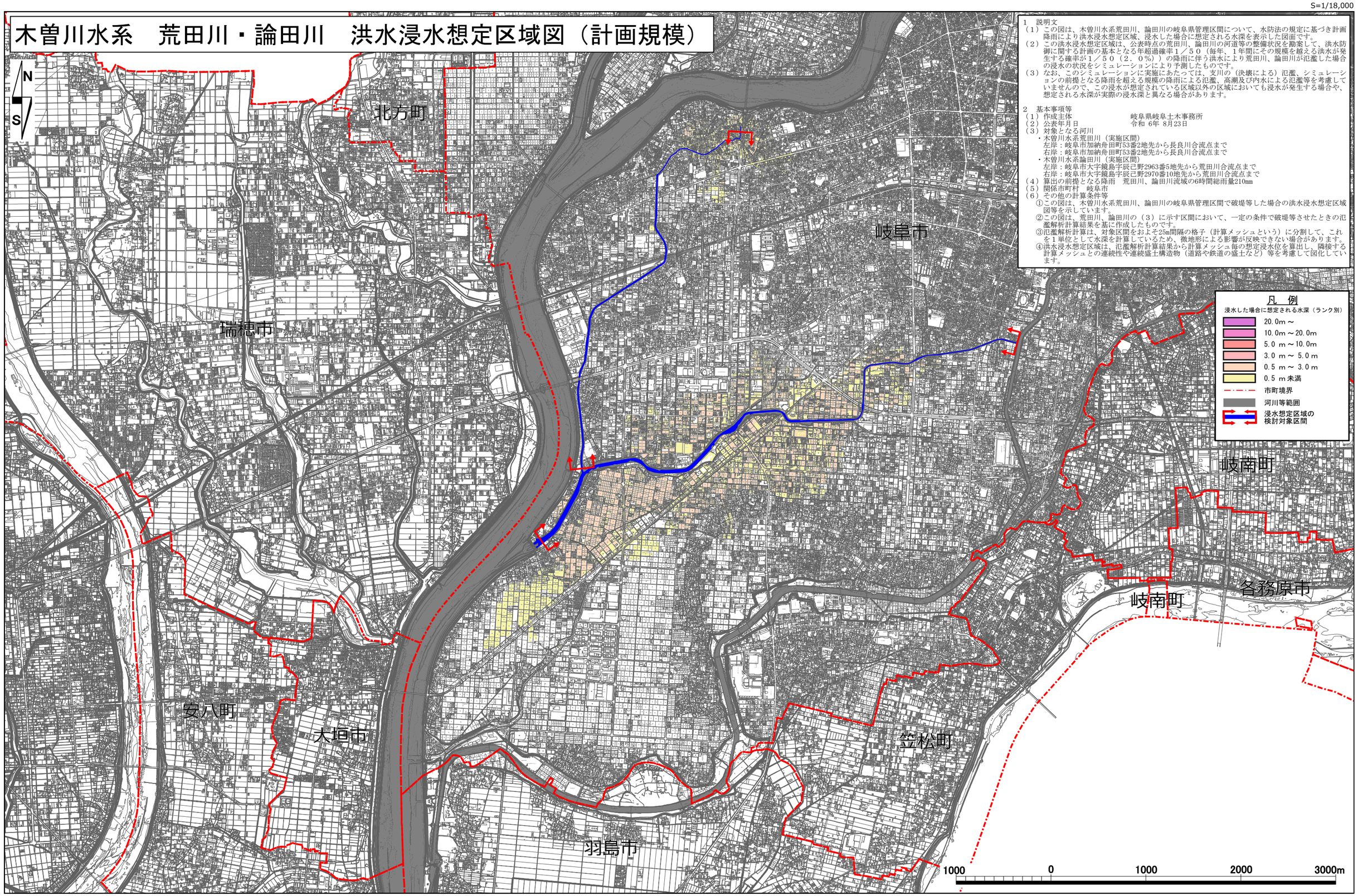
S=1/18,000

木曽川水系　荒田川・論田川　洪水浸水想定区域図（計画規模）



1　説明文

（１）この図は、木曽川水系荒田川、論田川の岐阜県管理区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（２）この洪水浸水想定区域は、公表時点の荒田川、論田川の河道等の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を越える洪水が発生する確率が１／５０（２．０％））の降雨に伴う洪水により荒田川、論田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションに実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定されている区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）作成主体　　岐阜県岐阜土木事務所

（２）公表年月日　　令和 6年 8月23日

（３）対象となる河川

・木曽川水系荒田川（実施区間）

左岸：岐阜市加納舟田町53番2地先から長良川合流点まで

右岸：岐阜市加納舟田町53番2地先から長良川合流点まで

・木曽川水系論田川（実施区間）

左岸：岐阜市大字鏡島字辰己野2963番5地先から荒田川合流点まで

右岸：岐阜市大字鏡島字辰己野2970番10地先から荒田川合流点まで

（４）算出の前提となる降雨　荒田川、論田川流域の6時間総雨量210mm

（５）関係市町村　岐阜市

（６）その他の計算条件等

①この図は、木曽川水系荒田川、論田川の岐阜県管理区間で破堤等した場合の洪水浸水想定区域図等を示しています。

②この図は、荒田川、論田川の（３）に示す区間において、一定の条件で破堤等させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③氾濫解析計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④洪水浸水想定区域は、氾濫解析計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 20.0m ～
- 10.0m ～ 20.0m
- 5.0 m ～ 10.0m
- 3.0 m ～ 5.0 m
- 0.5 m ～ 3.0 m
- 0.5 m 未満
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の検討対象区間

この地図の作成にあたっては、岐阜市の了承を得て同市発行の都市計画基本図1/2,500を使用した。（承認年月日　令和5年6月15日　承認番号　岐阜市第4号）